



# 理科教育センター協力員として 果たすべき役割

新潟県の現職派遣として自然系コース理科に在籍させていただき、物理・化学・生物・地学・理科教育に関する専門的な知識や教育法を先生方から丁寧に教えていただきました。また、地域の自然を素材とした野外実習では、直接自分の目で見て、手で触れ、感じるなどの体験的活動を通して、フィールドにおける指導法を学ぶこともできました。さらに、質の高い理科教員を目指すためのCST（コア・サイエンス・ティーチャー）養成プログラムも受講し、社会教育施設・新潟県教育委員会・理科教育センターにおける実習や授業実践研修を通して、現場で求められる実践的な指導力を身に付けることができました。このような充実した2年間を過ごさせていただき、理科の指導に対する自信が高まったと実感しています。

現在、私はCSTの資格を生かして、上越市立春日中学校の教員と上越理科教育センターの協力員を兼任しています。

午前中は理科教員として生徒を相手に授業を行い、午後は理科教育に関する研修会を企画・実施して、参加される先生方と一緒に理科の指導力を高めています。研修会で使うテキストの作成や児童生徒に有効な教材・指導法の開発は大変ではありますが、参加された先生方から「とてもためになり、参加して良かった。」「明日からすぐにも使いたい。」などという感想をいただいたときは本当にやりがいを感じます。今後は、CSTとして資質をさらに高めるとともに、大学院で学んだことや他の地区理科教育センターとの連携で得られた知識を新潟県の理科教育に還元できるように努力していきたいと思っています。



**八木 純**  
(やぎ じゅん)

新潟県上越市出身。新潟県内の公立中学校で15年の勤務を経て、教科・領域教育専攻自然系コース（理科）へと進学し、平成27年3月修了。CST（コア・サイエンス・ティーチャー）養成プログラムを受講し、認定。現在は上越市春日中学校に勤務するとともに、上越理科教育センターの協力員として、小・中学校の教員を対象に数多くの研修会を実施している。

